

A photograph of a wooden desk. On the desk, there is a stack of five books with various colored spines (blue, white, grey, green, and pink). A wooden pencil lies horizontally in front of the books. To the right of the books is a white notepad. In the background, a vertical ruler with black markings is visible against a wooden wall.

板橋第四小学校
おすすめ本
ぶっくりすと

A highly abstract and blurry image. It features a dark, textured background on the left side, transitioning into a bright, multi-colored area on the right. The colors include shades of blue, purple, red, and yellow, appearing as if they are smeared or blurred together. The overall effect is one of motion and vibrant energy.

板橋第五中学校
おすすめ本
ぶっくりすと

目次

目次……1

板橋第五中学校おすすめ本……2

東板橋図書館スタッフおすすめ本……4

板橋第四小学校おすすめ本……9

板五中

東板橋
図書館

板四小

みなさんが選んだおすすめ本の中の
わたしの好きな一文は
上記の色のついた枠で囲まれています。

本のどこにあるか、読んで探してください。

『岳物語』『タンポポ』

著：椎名誠

集英社文庫



わたしの好きな一文はコレ！
「おいおきろコラ、たいへんなこ
とがおきたんだぞ！腹なんかだ
している場合じゃないぞ！」

私と岳という主人公のお話です。岳はバレンタインに3人の女子にチョコをもらいました。岳は三人の女の子に手紙をかくことにしました。3人とも文は一緒でしたが、1枚だけちがうものが…。どこがちがっていたのかは読んでみてください。(1年)

『だから私は、明日のきみを描く』

著：汐見夏衛

スターツ出版株式会社



わたしの好きな一文はコレ！
誰にも遠慮せずに、描きたい
だけ、描きたいように描いて
いい。

主人公の遠子は大人しくて自分を上手に出せない平凡な女子。高校に入るがクラスで孤立しそうになった所を小学校から同じの遥に助けってもらい何とか高校生活を送っている。そんな中、遥の好きな彼方を好きになってしまい遥との関係にひびが入ってしまう。友情と恋がぶつかりあい大切なことを教えてくれる感動作。(2年)

『ワンダー』

作：R・J・パラシオ

訳：中井はるの

ほるぷ出版

わたしの好きな一文はコレ！
「オギーはほんとうに奇跡。
すばらしい奇跡。」



この本はオーガストという、顔に生まれつき障害を持っている男の子が主人公のお話です。オーガストと友達とも関係が変化していくのが最大の魅力だと思います。私はお母さんが、本の最後に言った言葉が好きな一文です。何より印象に残りました。とても面白くて、感動するお話です。ぜひ読んでみてください。(1年)

『ホームレス中学生』

著：田村裕

ワニブックス

わたしの好きな一文はコレ！
お母さんは最後に笑っていた。



この本は、普通の生活を過ぎていた中学生の主人公が、家族バラバラになったりお母さんが死んだりという苦労をのりこえて生きていく話です。つらい状況でもお父さんお母さんに感謝しながら生きる主人公の姿に感動します。ぜひ読んでみてください。(1年)

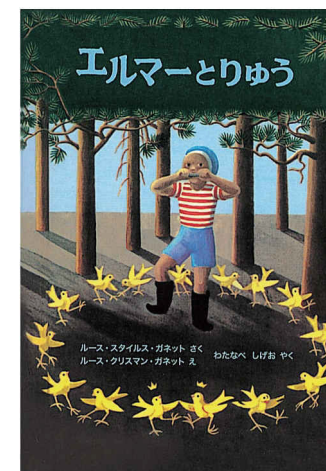
『エルマーとりゅう』

R. S. ガネット作

渡辺茂男 訳

福音館書店

わたしの好きな一文はコレ！
ないちゃいけない、うちのこ
も、おもいだしちゃいけない」



これはエルマーシリーズの第2作目です。第1作は冒険の始まりを書いています。原題は「お父さんの竜」という作品で主人公のエルマーがファザーになっています。エルマーはとてもやさしい人で物語の始まりはエルマーが野良猫を助けて竜を助けてほしいというところから始まります。エルマーは無事に帰れるのでしょうか？ぜひ見てください。(1年)

～情報委員会を見学して～



ある冬の日、板橋第五中学校情報委員会を見学させていただきました。

あちこちに情報委員おすすめの本やあたらしくはいった本などが立体的なポスターやPOPとともにそれぞれのコーナーにありました。とても工夫されていて手に取ってみました。委員だけでなく、生徒がすすめる参加型のコーナーもあり、生徒同士でコミュニケーションをとって盛り上げられていました。

その日の活動は学級文庫の選定。読書通帳を活用していただいているようで、とてもうれしかったです。

「2.43 清陰高校男子バレー部」

壁井ユカコ 著

集英社



わたしの好きな一文はコレ！
「行くんやろ。春高。最後までつきあうわ」

人数も足りないような弱小バレー部が全国大会を目指すシリーズ、first season。ひねくれた天才セッターと、坊ちゃん豪快アタッカーの一年生コンビが主人公。でも実はバレーが好きで仕方がない主将と、それを支える腹黒い策略家の副主将の三年生コンビがチームをまとめ、引っ張っています。チーム内外のいがみ合いや確執も丁寧に書かれていて、運動部を知らなくても共感できる場面があります。脇を固める個性際立つチームメイトや関係者も魅力的です。

「さいごの毛布」

近藤史恵 著

角川文庫



わたしの好きな一文はコレ！
「事情があるの」

犬の最期をみとる「老犬ホーム」で働くことになった主人公。預かる犬にも預ける人にも面倒を見る人にもそれぞれ事情があります。話せない犬だから自分から観察して関わっていくことで、犬の個性や事情を理解していきます。そして自分の感情の動きを自覚し、苦手だった家族に向き合うようにもなります。いくつになっても変えられる変えられることに気づかされました。

「氷菓」

米澤穂信 著

角川文庫



わたしの好きな一文はコレ！
「気になります」

物事にあまり積極的ではない男子高生が、ある事情で入部した部活で、一人の女子高生と出会います。彼とは対照的に、エネルギーに満ちた彼女が、意志の強さが垣間見える一言で、彼を振り回していくさまが印象的です。日常の中の非日常に関わらざるを得なくなった彼が何を思うようになるのか、彼女がもたらす非日常とは何かを、ぜひ確認してみてください。

今回は、まだ若い人が働き方や生き方に悩んでいる本を紹介しました。劇的な出来事は起こらない、身近な日常のお話です。その分共感を持ってもらえるかもしれないと選びました。本は人の目を通して描かれています。キャラクター小説でもミステリーでも時代小説でも登場人物にリアリティがあつてこそ、読み手の感情が揺さぶられるものではないかと思います。たくさん本を読んで気分転換にしたり、知識を深めたり、生活していくうえで糧にしてもらえたらと願っています。

あとがき

今年度も板橋第四小学校・板橋第五中学校のみなさんとおすすめ本づくりすをつくることができました。

ご協力いただきました、児童・生徒のみなさん、先生方
出版社のみなさま、ありがとうございました。

板橋第四小学校・板橋第五中学校

おすすめ本づくりすと

2019年3月 初版1刷発行

著者

板橋第四小学校図書委員会

板橋第五中学校情報委員会

編集

板橋区立東板橋図書館

発行

板橋区立東板橋図書館

(指定管理者ナカバヤシ株式会社 東京本社)

〒173-0003 東京都板橋区加賀 1-10-15

TEL 03-3579-2666

印刷：プリントパック

2019 板橋区立東板橋図書館

板橋第四小学校のおすすめ本



とよしつ しょうかい ■図書室 紹介■

いたばし だいやん しょうがっこう とよしつ かい かい わ かい だいいち
板橋 第四 小学校の図書室は、1階と2階に分かれています。1階の第一
とよしつ となり しつ おも しら がくしゅう じゅぎょう かつよう
図書室は隣がパソコン室になっており、主に調べ学習や授業で活用
とよしつ かい だいに とよしつ よ もの
できる図書室になっています。また、2階の第二図書室は、読み物や
えほん ぶんがく さくひん はいか おお ほん なか よ ん えら
絵本といった文学作品を配架し、多くの本の中から読みたい本を選ん
どくしょ たの まいにち こ りよう とよしつ
で読書を楽しむことができ、毎日、子どもたちがよく利用している図書室
です。



いたばし だいやん しょうがっこう ねんかん とお
板橋 第四 小学校では年間を通して
かく がくねん ほん ぼつぷ
各学年がおすすめ本のPOPをかいてく
ださっています。

ひがしいたばし としょかん かい じどうしつ
東板橋 図書館では1階 児童室の
いっかく ぼつぷ てんじ
一角でPOPを展示しています。

『ミスターオレンジ』

さくしや

作者：トウルース・マティ

さくほくしや
朔北社

す いちぶん
わたしの好きな一文はコレ！
「アッペ！アッペ」
「そのとおり！」



この本は、主人公の八百屋の少年ライナスがオレンジを注文する一人の画家と親しくなります。その人を「ミスターオレンジ」と呼びます。ナチスが支配するヨーロッパから、命がけで逃げてきたその画家は、ライナスにとって特別な存在となりました。ライナスは想像の自由を守ることを考えます。物語といっても読みづらい人もいますが、いいお話なので、ぜひ読んでみてください。(6年)

はな
『花あかりともして』
さくしや：はっとり ちはる え：あかぎ しゅん
作者：服部 千春 絵：紅木 春
しゅつぱん
出版 ワークス



す いちぶん
わたしの好きな一文はコレ！
二本だけをのこしたのは、もしも
今日明日にでも父が帰ってきたら
と、そう思ったからだ

この本は、戦争のこと 命の大切さなどについてのことが書かれています。私がおススメした理由は、私たち平成生まれの人たちはまだ戦争についてのことや、戦争での辛さなどを知らないからです。もし戦争のことを知っていたら、今の世界・生活がどれだけ大切なかがとても分かります。また、生きることの大切さや「家族との時間はとても大切だな」と分かるからです。ぜひ、読んでみてください。(6年)

つ てがみ
『メロンに付いていた手紙』
さくしや：ほんだ ありあけ え：みやお かずたか
作者：本田 有明 絵：宮尾 和孝
かわで しょうぼう しんしや
河出 書房 新社



す いちぶん
わたしの好きな一文はコレ！
かぞく わ あ
「家族で分け合ったほうが、
なんばい
何倍もおいしくなる」

海斗は、たん生日に、北海道の夕張メロンをもらいました。そこには、手紙が。「僕たちが大事に育てました。おいしいので食べてください。」やまと なつき か かいと ゆうばり
「山本 夏樹」と書いてありました。海斗は、夕張メロンが気に入りました。そこで、海斗はお母さんに、メロンを育てている北海道に行くことにしました。そこで、調べて連らくをとって行くことに！
はたして、二人はあえるのか？ (5年)

よる あ きみ あ
『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』
さくしや：しほみ なつえ
作者：汐見 夏衛
しゅつぱん
スターツ 出版



す いちぶん
わたしの好きな一文はコレ！
よる あ
『夜が明けたら、いちばんに
きみ あ
君に会いに行く』それがこの
え
絵のタイトルだった。

茜はある事情が小学生のころあり、マスクをした優等生を演じています。ですが茜には、ただ1人きらいな人がいました。同じクラスの深川 青磁。やりたい放題、言いたい放題な自由人の青磁だったが、文化祭のげきで青磁に力を借りることになります。孤独ときゅうくつさでどうしようもなくなっていた自分を救ってくれたのは…青磁だった。青磁という時間は茜の心をとかしていき… (5年)